

2

日本の領土をめぐる

▶ 国家と領土

学習
課題

日本の領土をめぐるは、どのような課題が存在しているのでしょうか。

主権国家の
三要素

国家は、^{りょういき}領域、国民、主権の三つの要素から成り立っています。

領域とは国家の主権が及ぶ^{およ}範囲^{はん い}のことをいい、領土、領海、領空¹の三つの部分からなります⁴。領土の周辺12海里（1海里は1852m）を領海、領海の外側で海岸線から200海里までの^{はん い}範囲^{はい た てき}を排他的経済^{すい い き}水域^{すい い き}といいます。排他的経済水域の水産資源や鉱物資源などは、自国のものとする^{みと}ことが認められています²。排他的経済水域の外は公海とよばれ、国家の主権が及ばないところです。公海上では、どの国の船も自由に^{こうこう}航行^{こうこう}や漁業ができるのが原則です（公海の自由）。領空の外についても、公海と同じ考え方が適用されます。

198 ~ 199 - 2

第6章 国際社会に生きる私たち

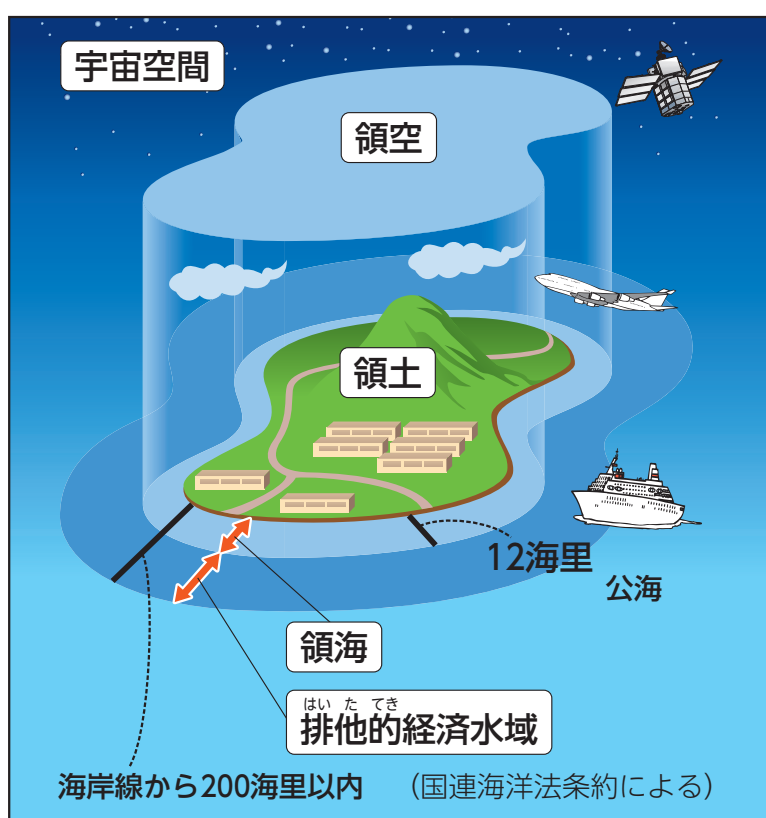
34

- ・ B4の用紙で印刷してください。
- ・ 点線で切ると実際の大きさになります。

日本は、国の面積では世界で60番めくらいですが、^{りょうかい}領海と^{はい た てき}排他的経済水域で^{すいいき}比較すると6番めになります(2023年3月現在⁵)。日本周辺の多数の島々は、^{はん い}領海の^{こんきよ}範囲を決める根拠になっています。

① 一般的には、領空は領土と領海の上空で、^{けん}大気圏(地球を^{おお}覆う大気が存在する^{はん い}範囲)までと考えられています。

② 漁業や海底資源開発の権利を得るため、また、国全体の安全^{ほ しょう}保障のためにも重要です。

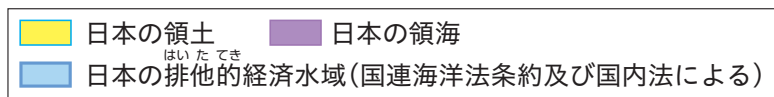
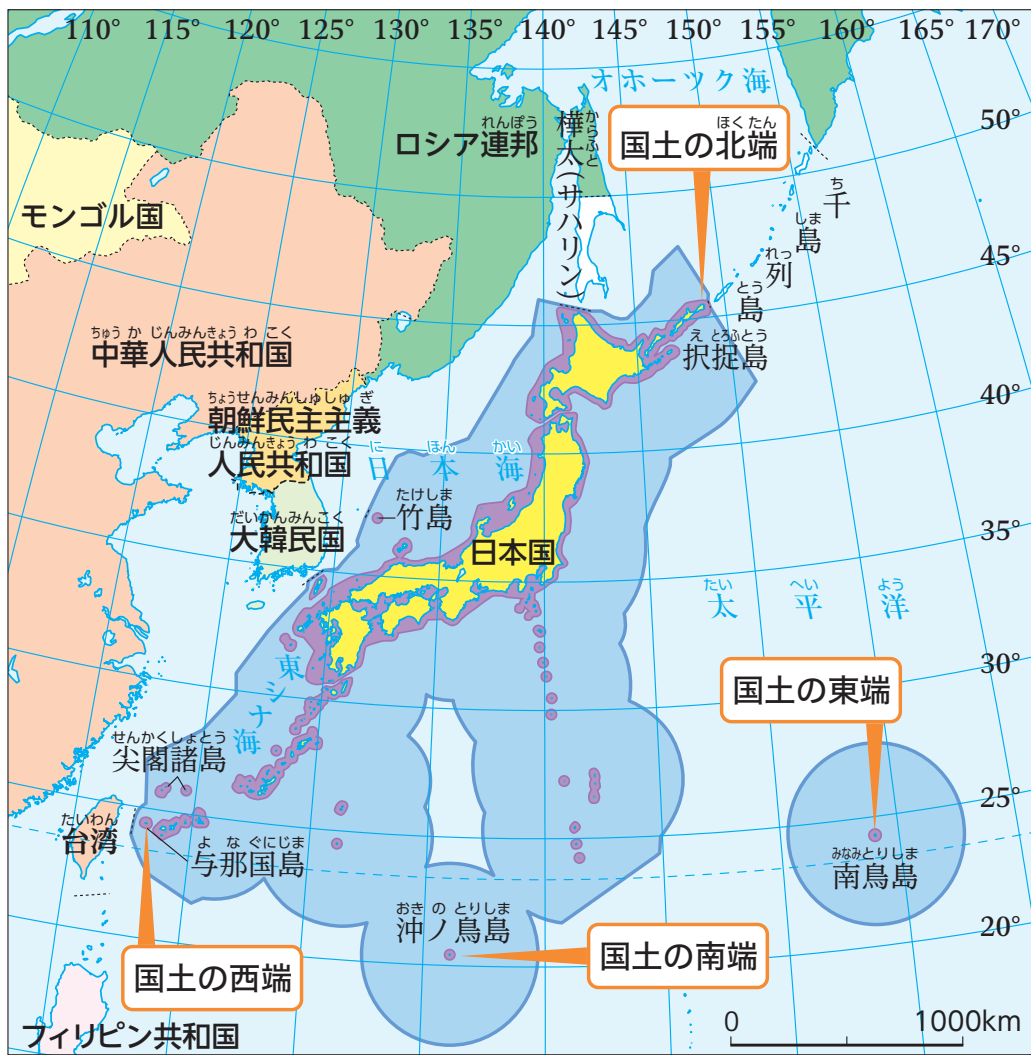


4 領土・領海・領空の区分

他国の領海で平和や秩序、安全を害する通航^{つうこう}を行うことや、領空に許可なく飛行機で立ち入ることは、領海侵犯^{しんぱん}あるいは領空侵犯となります。

198 ~ 199 - 3

- B4の用紙で印刷してください。
- 点線で切ると実際の大きさになります。



5 日本領土とその周辺

排他的経済水域の範囲の一部は、関係国と交渉中です。

領土をめぐる問題

北海道の東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土³ p.201→ や、日本海に位置する竹島(島根県⁶)は、歴史的にも国際法のうえでも日本固有の領土であるというのが、日本政府の立場です。しかし、現在これらの島々は不法に占拠されています。

198 ~ 199 - 4

第6章 国際社会に生きる私たち

- B4の用紙で印刷してください。
- 点線で切ると実際の大きさになります。

北方領土は、第二次世界大戦の終結後にソ連に占^{せん}拠^{きよ}され、現在はロシアに引き継^つがれています。日本は北方領土の返還^{へんかん}をロシアに求め続けていますが、いまだに実現していません^{1 2}。ロシア政府も領土問題の存在^{そんざい}を認^{みと}めていて、両国の政府は交渉^{こうしょう}を続けてきています。竹島^{たけしま}については、1952年以来韓^{かん}国^{こく}が領有権を主張し、占拠を続けています。日本は韓国^{こう ぎ}に抗議し、国際司法裁判所^{←p.197}での話し合いによる解決を提案していますが、韓国政府は領土問題の存在^{ひ てい}を否定し、未解決のままとなっています。

尖閣諸島^{せんかくしょとう} (沖縄県^{おきなわ} ⁷) については、1895年以来日本の領土であり、領有権の問題は存在しないというのが日本政府の立場です。しかし、中国が領有権を主張していて、中国による領海^{しんぱん}侵犯^{しんぱん}が起きています
p.201 →。

198 ~ 199 - 5

- ・ B4の用紙で印刷してください。
- ・ 点線で切ると実際の大きさになります。



6 竹島 (2012年 島根県隠岐の島町)

日本海に位置する女島(東島)、男島(西島)などからなる群島です。江戸時代の初めから島の周辺で日本人が漁業を行っていて、1905年の閣議決定で島根県に編入しました。1952年に、韓国が自国の権益の範囲として設定した「李承晩ライン」の内側に竹島を位置づけ、1954年からは警備隊を常駐させて、不法に占拠を続けています。



7 尖閣諸島 (2018年 沖縄県石垣市)

南西諸島西端に位置する魚釣島、北小島、南小島などからなる島々は、1895年の閣議決定で沖縄県に編入されました。第二次世界大戦後にアメリカの施政下に置かれた時期を除き、日本が領有し、有効に支配を続けてきました。しかし、東シナ海に石油資源がある可能性が指摘されると、1970年代から中国が自国の領土であると主張し始め、近年、周辺の日本領海に中国船が侵入する事態が生じています。

198 ~ 199 - 6

第6章 国際社会に生きる私たち

- ・ B4の用紙で印刷してください。
- ・ 点線で切ると実際の大きさになります。

領土問題の解決に向けて 領土問題は経済的な利益だけでなく、それぞれの国のあり方や考え方にも関わり、解決は容易ではありません。対立を解消し、自国の領土を守っていく姿勢し せいが大切です。そして、国際社会こんざいに存在する多くの領土問題の解決にあたっては、国際秩序ちつじょ い じを維持するためにも、威嚇い かくや武力にうったえることなく、外交交渉p.200→によって平和的に解決することが何より重要です。

確認

独立した国家が成り立つための三つの要素を、本文から書き出そう。

表現

現在、日本の領土をめぐるのは、どのような問題があるか、説明しよう。**見方×考え方**

関連

【小学校】日本の国土(5年)・これからの日本(6年)／
【地理】日本の地域構成ち い き／【歴史】近代・現代

SDGs

⑭ 海洋資源し げん



⑮ 陸上資源



⑯ 平和



198 ~ 199 - 7

- ・ B4の用紙で印刷してください。
- ・ 点線で切ると実際の大きさになります。